

「当院における腸閉塞に対する腹腔鏡手術の治療成績に関する後ろ向き観察研究」
ご協力をお願い

従来腸閉塞に対する手術は主に開腹手術で施行されておりましたが、近年の腹腔鏡手術手技の進歩により腹腔鏡下腸閉塞手術が増えつつあり、当院でも腹腔鏡下手術を選択することが多くなっています。

そこで、当院の腸閉塞に対する腹腔鏡下手術の治療成績について明らかにすることで、手術適応となる腸閉塞患者に対しより良い治療選択を行うことが可能になると考え研究を行います。

2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科	小松 周平(責任研究医師)
京都第一赤十字病院消化器外科	濱田 哲司(分担研究医師)
京都第一赤十字病院消化器外科	塩飽 保博(消化器外科部長)

3. 研究の方法

当院の消化器外科で治療を受けた患者で当科患者データベース 2019 年 1 月から 2021 年 7 月に登録された方を対象として、手術を施行した腸閉塞症例の背景因子及び治療成績に関して検討を行います。抽出するデータは、以下の通りです。

① 関連情報:術後退院日数、合併症、画像所見、各種血液検査データなど
データベースから(2019 年 1 月から 2021 年 7 月)

② 患者基本情報:性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地
京都第一赤十字病院 消化器外科
電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308
責任研究医師氏名 小松周平(skomatsu@koto.kpu-m.ac.jp)